

# 西和賀わらび ネットワークだより



2025.3.17

## 西和賀が誇る西わらびGI認証取得



令和6年1月29日、農林水産省の地理的表示（GI）保護制度の対象品目として新たに「西わらび」が登録されました。農林水産省で行われた登録授与式に西和賀わらび生産販売ネットワークの湯沢正会長が出席し、農林水産大臣政務官から登録証が授与されました。

湯沢会長は、「国のお墨付きをいただき大変うれしいが、これからがスタート。地域に根差すブランドとして飛躍できるように、生産者の誇りを持って頑張ります」と決意していました。登録により品質保証やGIマークの使用が認められ、他産地との差別化が期待されます。

## 地理的表示(GI)登録による消費拡大キャンペーン開催

**【地理的表示 (GI) 登録記念】**

**『とろっとした西わらび』**

**消費拡大**

**キャンペーン**

●2024年5月13日(月)～5月26日(日)

※各店舗の営業状況により、開店日が前後する場合があります。

★いつもよりちょっとお得に！

＜特設販売コーナー設置＞

スーパーオセン湯本本店・北上店  
高原産直ハウス／里の恵／深重商店  
東横商店／六戸商店／道の駅錦秋湖  
湯夢プラザ／錦ハウス／砂ゆっこ

★大切な方への贈り物に！

＜西わらび餅販売中!!＞

つきざわワラビ園（やまに農産）  
わらび餅カフェ団平  
お菓子処たけはし／工藤菓子店

★この機会にご家族でどうぞ！

＜西わらびメニュー提供＞

カタカゴ・ヒルズカフェ／川崎食堂  
ゴハンヤ meets／利久庵  
道の駅錦秋湖／湯夢プラザ  
レストランゆのさわ

＜ワラビ園も応援!!＞

沢内天然ワラビ園／つきざわワラビ園

令和6年5月13日から26日まで、(株)西和賀産業公社の企画で、GI登録を記念した「とろっとした西わらび」消費拡大キャンペーンを開催しました。

このキャンペーンでは、西わらびを販売する11店舗がそれぞれ特設販売コーナーを設置し、町内飲食店7店では西わらびを使ったメニューの提供を行いました。

また、西わらび餅販売店や町内わらび園にも、新たに作成したGIマークが入ったのぼり旗を掲示していただき、町内全域でPRを図りました。

さらに、宮城県6店舗（①あ・ら・伊達 道の駅 ②道の駅上品の郷 ③Cara fruta カーラ・フルッタ ④Marche lien マルシェリアン ⑤イオンスタイル新利府店 ⑥イオンSUC 鈎取店）、東京都内1店舗（いわて銀河プラザ）において、対面販売や試食販売等を行い、GI登録を契機とした周知活動を展開しました。



## 西わらびGI取得祝賀会 & ゆうパック出発式



西和賀わらび生産販売ネットワークでは、令和6年5月17日に町内関係者を招いて「西わらびGI取得祝賀会」を開催しました。

祝賀会では、登録までの経過報告が行われ、初物わらびの試食のほか、西わらびの叩きやプレミアム西わらびの一本漬けなど、西わらびを使った6品の創作料理が振舞われました。

参加者は、太くてやわらかくトロっとした粘りが特徴的な「西わらび」の美味しさを確かめ、ぜひ多くの皆さんに味わって欲しいと決意を新たにしていました。

祝賀会に引き続き「ゆうパック出発式」も開催され、関係者によるテープカットのほか、湯沢正会長が生産者を代表して、郵送への感謝と無事故の願いを込め、トラック運転手に花束を贈呈しました。

最後には、関係者全員で「西和賀の宝、西わらびを全国のみんなに食べてもらおうべ！」とシュプレヒコールを上げ、西わらびを載せたトラックを見送りました。

当日は、テレビ局4社、新聞社2社により取材いただき、県内外へのPRに繋がりました。

## 認知度向上と消費拡大へ GI産品うまいものフェア初出店

歴史と風土に育まれた地域の宝・特産品が大集合!

# GI産品と うまいものフェア

2024年  
11月1日(金)・2日(土)  
午前10時～午後6時30分 午前10時～午後5時

会場 藤崎サンモール  
一番町側玄関前特設会場  
(仙台市青葉区一番町3丁目17号)

GI登録産品、  
地域の特産品など  
約50商品を  
販売いたします。

【販売予定】  
・南春の栗にんにく(青森県)  
・二子豆(山形県)  
・半子餅(岩手県)  
・西わらび(岩手県)  
・河津桜(宮城県)  
・たわらのエゴマ油(福島県)  
・新田産菜そば(栃木県)  
・流石(岩手県)

日本  
地理的表示  
GI

南春の栗にんにく(青森県)  
二子豆(山形県)  
半子餅(岩手県)  
西わらび(岩手県)  
河津桜(宮城県)  
たわらのエゴマ油(福島県)  
新田産菜そば(栃木県)  
流石(岩手県)

令和6年11月1日～2日、藤崎サンモール一番町側玄関前特設会場(仙台市)で行われた「GI産品とうまいものフェア」に初参加しました。毎年仙台市中心部のアーケード街で開催されているもので、西わらびが、GIを取得したことで、初めて参加することができました。

イベント当日は、(株)西和賀産業公社と工藤菓子店に加え、町農林課職員にもお手伝いいただき、多くのお客様に西わらびをPRすることが出来ました。特に西わらびの水煮や醤油漬、わらび餅が人気があり、多くの方に西わらび商品をご紹介します機会となりました。



## 西わらびを使った手軽なレシピを公開中



にしわが食図鑑



詳しくはこちらのQRコードから→



『にしわが食図鑑』は、「西和賀のユニークな食文化を多くの方に伝えたい」という思いから、作成されたYouTubeチャンネルです。

西わらびを使った「よだれわらび」「わらびの巻き寿司」「わらびのペペロンチーノ」の3品が紹介されていますので、ぜひご覧いただき、お知り合いにもご紹介ください♪

### よだれわらび（2人分）@にしわが食図鑑より

#### 【材料】

西わらびの水煮 1袋(100g)  
醤油・酢・オイスターソース 各大さじ1  
砂糖・ごま油・白すりごま 各小さじ2  
すりおろしにんにく 小さじ1/2  
鷹の爪 適量

#### 【作り方】

- ① 耐熱容器にすべての調味料を加えて混ぜ合わせ、電子レンジで500W30秒加熱する。
- ② 西わらびの水煮を袋から取り出し、軽く水で洗ってキッチンペーパーで水気を拭き取る。
- ③ わらびを約5cm幅に切って容器に並べる。
- ④ 加熱した①をわらびに回しかけ、タレを絡ませて数分おく。一晩漬けてもわらびに味が染み込んで美味しいです。

## 西わらび生産拡大への取り組み

西和賀町では、6次産業推進事業として、西わらび生産拡大補助事業を実施しています。

これは、農業所得の確保を図ることを目的に、西わらびの栽培を行う団体等（集落営農、任意団体、個人）に対して、ポット苗購入費用の助成（ポット苗1個につき100円）を行うものです。

令和6年度は、ポット苗2,043個（個人6名・団体3組織）について助成を行いました。これにより、西わらびの栽培面積は約70a拡大することができました。



## 西わらびの安定生産に向けて 春の準備編

最近春の雪解けが早くなっていますので、春作業の準備も考える時期となりました。

春肥として、萌芽前に草地211号を40kg/10a散布してください。堆肥の施用も効果があります。詳しくは「西わらびマニュアル」にまとめていますので、確認をお願いいたします。

また、今年から、わらび畑に除草剤のバスタ液剤が使えるようになりました。除草剤を活用する場合は、越冬した雑草や早く萌芽した雑草に、10a当たりバスタ液剤500mlを水100ℓに希釈し雑草にかかるように散布してください。ただし、わらびの萌芽前で収穫の14日前まで、年1回限りが条件です。（R7.2.12現在の登録内容に基づき作成）

★農薬の使用前にラベルの表示事項を必ず確認のうえ、農薬使用基準を順守し、農薬使用者が責任を持って使用すること。また、農薬使用実績を記入すること。

## わらび凍霜害対策実証試験 スプリンクラーを使った散水法

近年、雪解けが早まり、わらびの萌芽間もない時期に、霜の影響を受け品質低下や出荷ロスが発生していることから、その対策を検討しました。

### 1 使用資材

- ・家庭用パルススプリンクラー (TAKAGI G196 : 約2500円)
- ・ワンタッチホース取り付け具 (約400円)
- ・りんどう用いぼ竹 (太黒1.8m、うち40cmを埋設、約860円)
- ・水源 (地下水、電動ポンプ)、ホース、ビニルテープ



### 2 実証担当者

西和賀町長瀬野 土井富夫 氏      実証圃場：両沢地内

### 3 方法

- ・気象予報値をもとに、凍霜害が心配される場合スプリンクラーによる散水を開始する。
  - ・1℃を下回る頃 (概ね午前2～4時) 開始し、圃場に朝日が当たる直前まで散水する。
- 使用水量：スプリンクラー 1 基 1 時間当たり360ℓ  
散水範囲：半径10m (長方形の圃場ならスプリンクラー 2 基で約10aをカバー)

### 4 結果

- ・5月2日 (最低気温0.5℃) と5月3日 (最低気温-0.6℃) に実施
- ・5月2日は、無散水区は水霜程度の弱い降霜があったが、散水区は降霜はなく、わらびへの影響はなかった。
- ・5月3日は、無散水区は降霜があったが、散水区は降霜はなく、わらびへの影響はなかった。
- ・散水範囲の周辺も直接水はかからなくとも防霜効果が期待できる。

### 5 今後について

- ・実証圃場では、次年度はスプリンクラーを2基に増やし、電動ポンプにタイマーをつけ、散水開始の自動化を図る予定。
- ・散水施設は、自家のわらび畑全面に設置する必要はなく、「ここだけは初めから収穫したい、良いものがとれそう」という畑を中心に考慮する。

※当試験は、北上地方農林業振興協議会事業を活用し西和賀普及サブセンターが担当しました。  
次年度は、不織布を使った凍霜害対策試験を予定しています。



スプリンクラーでの散布の様子



使用した家庭用  
スプリンクラー

5月3日の無散  
布区のわらび  
屋頃の様子

